



株主のみなさまへ

第**68**期 中間株主通信
2017年6月1日 ▶ 2017年11月30日

CONTENTS

- P.1 トップインタビュー
- P.2 連結財務ハイライト
- P.4 トピックス
- P.5 連結財務データ
- P.6 会社情報／株式情報

お客様の満足度を高め、 さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第68期中間株主通信をお届けするにあたり、日頃のご支援・ご鞭撻に対し、心より御礼申し上げます。今後も皆様のご期待にお応えできるよう、さらなる業容の拡大と企業価値の向上に努めてまいります。引き続き、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年2月

代表取締役社長 **金森 武**



Q 当第2四半期の業績はいかがでしたか。

A 増収増益、四半期純利益は37.8%の増益となりました。

当第2四半期の売上高は、外商事業における新規取引の獲得や既存得意先との取引拡大が寄与し、295億34百万円(前年同期比7.9%増)となりました。利益面については、売上高の増加に伴う売上総利益の増加や、水産品事業における収益改善が寄与し、営業利益は3億5百万円(前年同期比13.7%増)、経常利益は3億15百万円(前年同期比12.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億10百万円(前年同期比37.8%増)となりました。

Q 各事業の状況についてご説明ください。

A 収益基盤の拡大を図り、各事業の取り組みを進めました。

外商事業 外商事業においては、外食チェーン、ホテル、レストラン、事業所給食など多様な外食産業のお客様にもっとも信頼いただけるパートナーとなることをめざし、得意先ごとのニーズに応じた最適な商品提案や物流サービスの提供に注力しています。当第2四半期においては、商品提案会を開催するなど既存得意先との深耕を図るとともに新規開拓に注力し、売上高は197億8百万円(前年同期比12.0%増)と伸長しました。

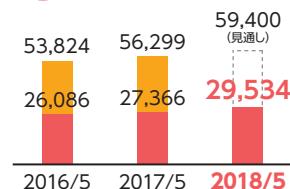
利益面については、経費抑制に取り組んだものの物流費の増加などが影響し、営業利益は1億28百万

連結財務ハイライト

売上高 (百万円)

■ 中間 ■ 期末

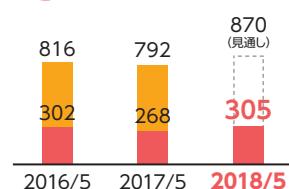
↑ 前年同期比
7.9%増



営業利益 (百万円)

■ 中間 ■ 期末

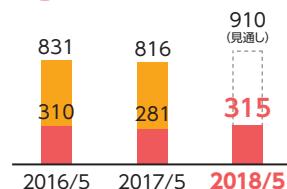
↑ 前年同期比
13.7%増



経常利益 (百万円)

■ 中間 ■ 期末

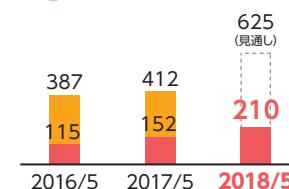
↑ 前年同期比
12.0%増



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)

■ 中間 ■ 期末

↑ 前年同期比
37.8%増



円(前年同期比1.9%減)となりました。

今後も引き続き、商品提案力・物流提案力の向上に取り組み、お客様の満足度を高めることにより既存取引の拡大、新規取引の獲得を進めていくとともに、物流費をはじめとする経費抑制に取り組み、収益性の向上を図っていきます。

アマカ事業 アマカ事業においては、青果品取扱店舗の拡充や地域ごとの顧客ニーズに応じた陳列アイテムの見直しなど品揃えの充実化に取り組むとともに、試食展示会の開催、一部地域における配送サービスの展開など、顧客利便性を追求し、お客様の来店・お買い上げを促す商品・サービス提供に注力しています。

新規出店については、2017年12月に北陸地区初出店となるアマカ福井文京店(福井県福井市)を開業

し、下期中にもう一店舗の出店を予定しています。

当第2四半期においては、新規出店のないなか、売上高は90億80百万円(前年同期比1.5%増)と前年同期を上回りました。既存店の来店客数やお買い上げ点数は順調に推移しており、店舗ごとに顧客利便性向上に注力してきた成果があらわれていると評価しています。

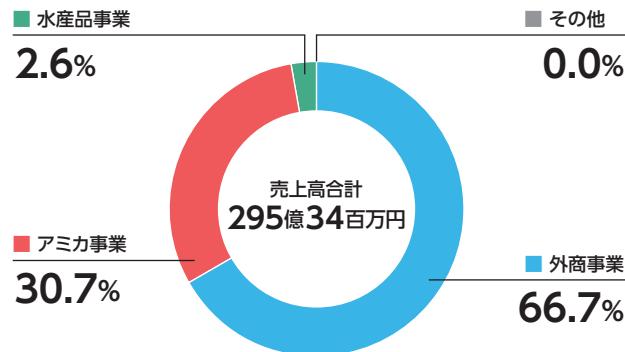
利益面については、新規出店に係る経費増加や、今後の経費抑制を図った店舗照明設備のLED化に係る経費増加などが影響し、営業利益は6億33百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

水産品事業 水産品事業の売上高は7億96百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益については前年同期の商品評価損発生などによる71百万円の営業損失から一転して27百万円の黒字化と大きく改善とな

りました。販売計画に応じた適正な仕入、個別取引ごとの採算を徹底した販売管理を強化し、売上高は前年同期を下回りましたが、利益面では大きく改善し当社グループの業績に貢献しています。

販売においては、回転寿司チェーンにおけるメニュー採用など既存得意先との取引深耕を進めるとともに、新たに食品メーカーへの商品提供を開始するなど新規得意先の獲得に注力し、着実に販路を拡大しています。また、外商事業と連携した外食チェーン向けの水産品提案や、アミカ店舗における水産品販売など、グループ全体で水産品提案の活発化に取り組んでいます。

セグメント別 売上構成比



(注) 1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2.セグメント別の売上構成比は、セグメント間の内部売上高等を除いた数値を使用して算出しております。

Q 通期の見通しについてご説明ください。

A 増収増益、過去最高益の更新をめざします。

通期の業績については、売上高594億円(前期比5.5%増)、営業利益8億70百万円(前期比9.8%増)、経常利益9億10百万円(前期比11.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6億25百万円(前期比51.5%増)を計画しています。

外商事業では、上期に獲得した新規得意先や既存得意先における取引拡大の効果に加え、下期においても新たな取引獲得に取り組んでいきます。アミカ事業では、2017年12月に開業したアミカ福井文京店による増収を見込むとともに、地域ごとに品揃えや販売施策の強化に取り組み既存店舗のさらなる活性化に注力していきます。水産品事業では、量販店や外食チェーン向けの販売など、既存得意先との取り組みを着実に実行していくとともに、新規開拓に注力していきます。

利益面については、全社的に経費抑制に取り組み、過去最高益の更新をめざします。

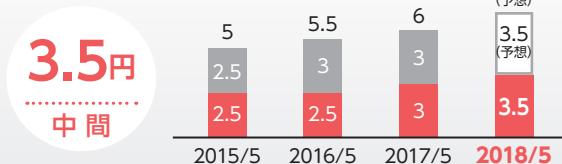
Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 3期連続増配を予定しています。

当第2四半期の配当金は、1株当たり3円50銭といたしました。期末配当金については、3円50銭を予定しており、年間配当金は7円、3期連続の増配を予定しています。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題のひとつと考え、今後の事業展開を勘案しつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。今後も株主の皆様のご期待にお応えできるよう、企業価値のさらなる向上に努めてまいります。株主の皆様には、一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1株当たり配当金(円)



(注)当社は2017年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。上記は、2015/5の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

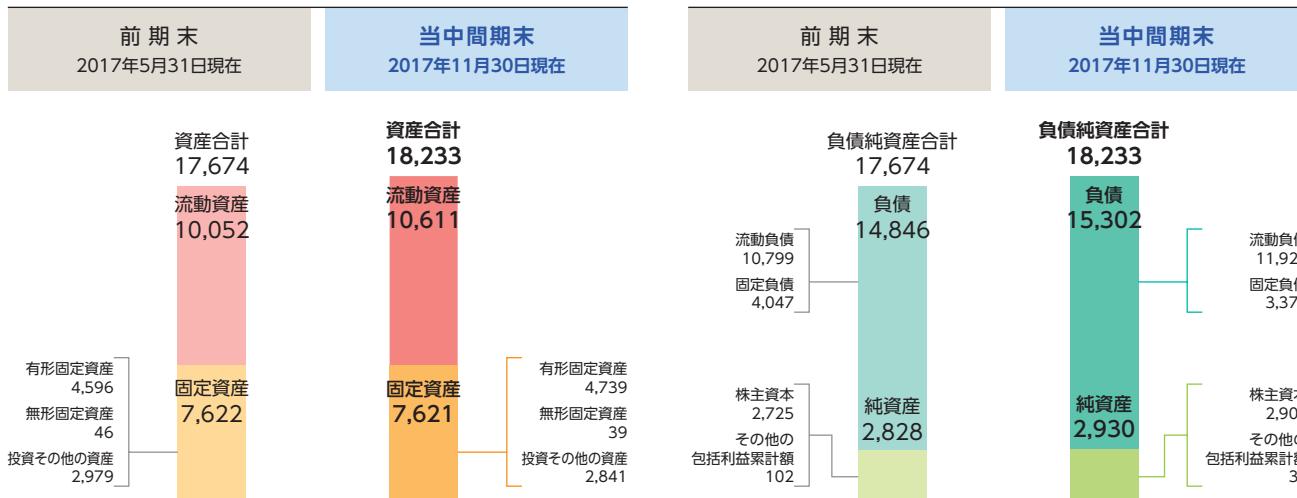


▲福島県相馬市の保育園で行われた支援活動の様子

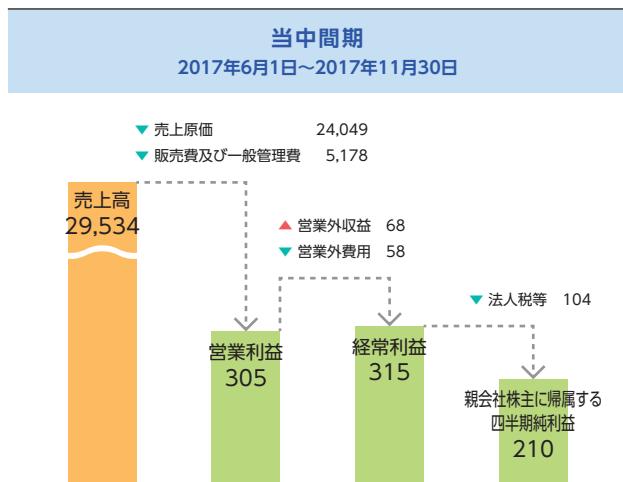
社会貢献活動 QUOカードを寄付

当社では、アマカ商品券と交換されたQUOカードを東日本大震災等の復興支援に役立ててもらうため、アシスト(ジャパン)の会を通じて被災地へ寄付いたしました。アシスト(ジャパン)の会は、東北福祉大学特任教授、県立広島大学客員教授、岐阜聖徳学園大学客員教授、ノースアジア大学客員教授である福岡政行氏が事務局長を務める慈善団体であり、福島県の保育園にQUOカードを届けるなど支援活動に活用いただいています。

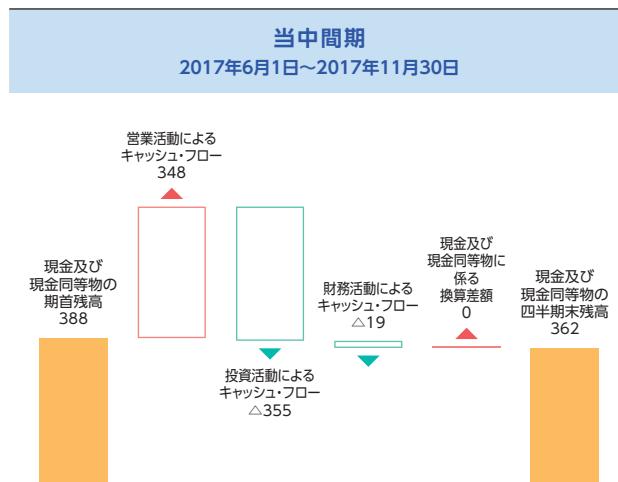
連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結損益計算書の概要 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



会社概要

2017年11月30日現在

商号	株式会社大光
本社所在地	岐阜県大垣市浅草二丁目66番地
創業	1948年(昭和23年)6月
設立	1950年(昭和25年)12月
資本金	4億7,503万円
事業内容	食品卸売業及び食品小売業
連結従業員数	931名(内パート・アルバイト426名)
子会社	株式会社マリンドリカ

役員

2017年11月30日現在

代表取締役社長	金森 武	取締役	藤澤 浩
専務取締役	倭 雅美	取締役	高橋 章夫
専務取締役	金森 久	取締役	小林 秀幸
常務取締役	秋山 大介	社外取締役	吉田 真司*
常務取締役	伊藤 光	社外取締役	吉村 有人*
		社外取締役	前川 弘美*

*は、監査等委員

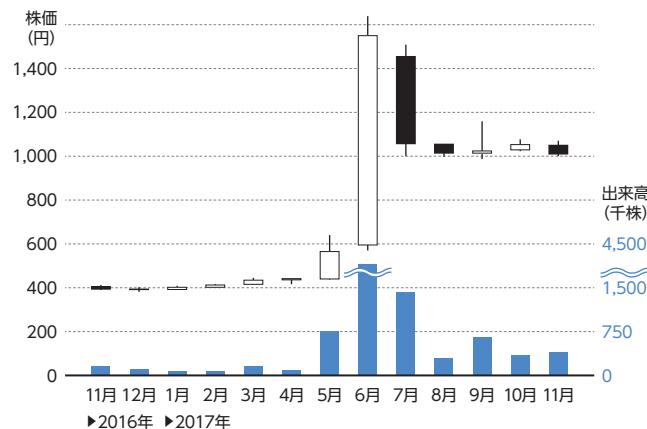
株式の状況

2017年11月30日現在

発行可能株式総数	30,720,000株	
発行済株式の総数	12,043,200株(自己株式を含む)	
株主数	8,188名(自己株式を含む)	
大株主		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
金森 武	2,560,000	21.61
金森 久	1,168,000	9.86
大光従業員持株会	880,300	7.43
金森 智	720,000	6.07
株式会社大垣共立銀行	580,000	4.89
倭 雅美	272,000	2.29
株式会社トーカン	240,000	2.02
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	199,900	1.68
大光取引先持株会	174,500	1.47
株式会社十六銀行	160,000	1.35

(注) 1. 当社は、自己株式200,008株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

株価チャート



(注) 当社は2017年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。上記は、当該株式分割を遡及して表示しております。

所有者別株式分布状況



(注) 自己株式は、個人・その他に含めております。

所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで

定時株主総会 毎年8月

基準日
定時株主総会の基準日 毎年5月31日
期末配当金の基準日 毎年5月31日
中間配当金の基準日 毎年11月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 (電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話番号0120-782-031(フリーダイヤル)

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

【未払配当金のお支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや店舗情報など、当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。



<http://www.oomitsu.com>

**株主メモ**
株式会社大光

〒503-0947
岐阜県大垣市浅草二丁目66番地
TEL: 0584-89-7777
FAX: 0584-89-7333

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ること、ならびに株主優待制度を通じた当社事業への理解促進を図ることを目的として株主優待制度を設けております。



当社から株主様へQUOカードをお送りします。当社からお送りするQUOカードを未使用の状態当社アマカ店舗へご持参いただきました株主様には、QUOカードを倍額の「アマカ商品券」に交換させていただきます。

- 1 対象株主様** 毎年5月末日現在及び11月末日現在の当社株主名簿に記録された1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。(それぞれ8月下旬、翌年2月中に発送予定)
- 2 優待の内容**

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	▶ QUOカード500円分 又はアマカ商品券1,000円分
500株以上1,000株未満	▶ QUOカード1,000円分 又はアマカ商品券2,000円分
1,000株以上2,000株未満	▶ QUOカード2,000円分 又はアマカ商品券4,000円分
2,000株以上	▶ QUOカード3,000円分 又はアマカ商品券6,000円分



**PROJECT-
With the Earth**
この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。



**UD
FONT**

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。